

現場見学会

山口農業高等学校 / 環境科学科



ダム、トンネル。圧巻の大規模工事に興奮!

(一社) 山口県建設業協会では、土木・建築分野を学ぶ高校生に実際の建設現場や働く人々を見学してもらい、建設業に対する理解を深めてもらおうと、山口県土木建築部と共催で毎年建設現場見学会を実施しています。今回は、山口農業高等学校・環境科学科の1年生40名(男子38名、女子2名)が参加した現場見学会の様相を紹介します。

夏休みも終盤に差し掛かった平成29年8月21日、山口市をバスで出発した生徒さん達は最初の見学地である岩国市の「錦川総合開発事業平瀬ダム建設工事現場」に到着しました。平瀬ダムは、周南市・岩国市を流れる県下最大の二級河川「錦川」の治水、利水を目的に、平成26年3月より建設が開始されたダムです。

生徒の皆さんは工事概要の説明を受けた後、いよいよ巨大なダム



平瀬ダム建設工事現場見学の様子



トンネル内部で説明を受ける生徒の皆さん

工事を見下ろす展望所へ。「すごい!」「大きい!」とどよめきが上り、身を乗り出すようにして、コンクリート打設中の工事の状況に目を凝らしていました。その後はダム底へ移動し、今度は現場を下から見上げ、規模の大きさを改めて実感しているようでした。

道の駅での昼食を挟み、次に訪れたのは「県道岩国大竹線道路改良工事現場」。岩国大竹線は、岩国錦帯橋空港や岩国IC等へのアクセス改善、市街地の渋滞緩和や円滑な交通の確保などを目的に整備されている道路で、今回は森ヶ原第1トンネルの工事現場を見学しました。

トンネル工事の作業手順を聞いた後、生徒の皆さんは実際にトンネル内部へ。説明を聞きながら熱心にメモを取ったり、真っ白な壁面の防水シートにそっと触れてみ

に興味津々の様子でした。参加した山口農業高等学校・環境科学科1年の有江瑞希さんは「建設業で働く人の努力があった、今の生活があるんだなと改めて思いました」と話してくれました。



(左から) 吉武智香さんと有江瑞希さん

また同校1年の吉武智香さんは「大きな現場を見て、未来に向けて役立つことをしたいと意欲が湧きました。森林保護が夢でしたが、建設業もいいなと思っています」と広がる夢を語ってくれました。



河村先生

引率された同校の河村功先生は「建設中の構造物や道路を見ることに意義があるのはもちろんですが、生徒達には組織の中で働くことの大切さや、指示のもと自分の役割をもって動くことの必要性を現場見学で感じて欲しいです。これからの高校生活にも活かせる場面がたくさんあると思います」と話していました。

今回の現場見学会が、生徒さん一人ひとりの将来の糧となることを期待しています。

2017年度 高校生現場見学会 参加校(延べ11校 338名)

工事名	実施日	対象生徒	学校名
錦川総合開発事業平瀬ダム工事	5月24日	46名	徳山商工高校(保護者11名)
県道美祢油谷線道路改良工事・厚狭川広域河川改修工事	6月9日	21名	萩商工高校
錦川総合開発事業平瀬ダム工事・岩国大竹線道路改良工事	6月13日	40名	岩国工業高校
国道435号(美祢豊田バイパス)道路改良工事・厚狭川広域河川改修工事	6月27日	16名	下関工科高校
錦川総合開発事業平瀬ダム工事・岩国大竹線道路改良工事	8月21日	40名	山口農業高校
厚狭川広域河川改修工事・山口きらら博記念公園都市公園整備工事	9月15日	13名	宇部西高校
錦川総合開発事業平瀬ダム建設工事・岩国大竹線道路改良工事	10月13日	35名	田布施農工高校
合計	7校	211名	

工事名	実施日	対象生徒	学校名
山口県山口警察署庁舎新築工事	5月23日	24名	下関工科高等学校
菊川体育館建築主体工事	6月9日	30名	萩商工高等学校
	6月13日	35名	岩国工業高等学校
	6月21日	38名	柳井商工高等学校
合計	4校	127名	

土木系学科

建築系学科